

## 第76回二松学舎大学人文学会大会講演題目・研究発表要旨

日時 平成九年十一月二十九日（土）  
場所 千代田校舎五〇五教室

### 講演

#### 短歌ほろぶる日

國學院大學名誉教授  
國學院大學栃木短期大学長

岡野弘彦先生

### 研究発表

#### 《国文学》

#### 『竹取物語』と中国の竹・月伝承

博士前期課程 二年 丁 莉

『竹取物語』の内容は竹中誕生、求婚難題、昇天と大きく三つの主要素からなっている。その中で求婚難題は作者による机上創作とみなされている。一方で、残りの二つの要素（竹中誕生と昇天）は古来伝承を踏まえたものと言われている。そこで本発表では『竹取物語』のこの二つの要素に着目し、中国の竹・月の伝承とを比較することによってその本質を究明していきたい。

発表は以下の手順で進める。かぐや姫の竹中誕生について、橘純一氏をはじめ、従来の研究を踏まえ、さらに、竹の種類が豊富で、しかも大竹の産地である南中国の竹の伝承を紹介する。具体的には、発表者自身が中国から集めてきた十余例の伝説を対象に、古文獻の記録も含め、竹中生殖について分析する。南中国の「竹生殖信仰」から推察し、かぐや姫の誕生はそれを踏まえていたと推定する。

かぐや姫が八月十五夜に月に昇ることに關して、『竹取物語』は羽衣説話を素材としていると考えられるため、姫が昇天するというのがほぼ定説になっている。しかし、昇天と「昇月」は同じ事ではない。かぐや姫は漠然と天に昇るのではなく、月へ昇っていったのは何故か。そこで、中国の月に關する伝承、具体的に嫦娥伝説をはじめ、今日まで伝えられている月に關する伝説（発表者が集めてきたもの）や、中秋信仰などを踏まえ、竹の伝承と併せ、あらためて『竹取物語』の成立を考え直してみたい。

#### 「貧窮問答歌」の一考察

博士後期課程 三年 清水道子

山上憶良の歌の中で代表的なものとしてあげられるのは、「貧窮